



北陽同窓

会報・第19号

1997年7月17日

発行 北陽高等学校同窓会

編集 同窓会広報委員会

印刷 中央出版印刷株式会社

*toku*

もくじ

三木同窓会長ご挨拶	2	同窓の隨筆	8
母校の現況・林校長	2	同窓の経営するお店	8
第20回代議員会	3	同窓会役員名簿	9
第2回同窓会総会ご案内	3	募金ご協力のお礼	10
平成8年度決算報告	4	同窓会行事ご案内	11
平成9年度予算	4	ゴルフコンペ	
平成9年卒業生進路状況	5	バスツアーア	
母校クラブニュース	6	協賛廣告	12~16
楽しい同窓の集い	7		

ご挨拶

会長 三木 憲三
(昭和23年卒)



母校の現況

校長 林 敏夫



同窓会諸兄には、日々ご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて、北陽同窓会は本年4月1日より、すでに新年度入りをしておりますが、同窓会役員に於いても、3月末日をもって3年間の任期が満了し、新しい役員人事で、すでにスタートを切っております。

私も同窓会長として2期目を務めることになりましたので、過去3年間を振り返ると共に今後の同窓会に対する抱負の一端を述べることにいたします。

先ず、私がどのような考え方で同窓会活動に取り組んでいるのか、その根幹について簡単に触れることにいたします。「会員である全ての卒業生を対象にして、同窓会活動を押し広げる」そのことにより、同じ学窓に学んだ人達お互いの交流、そして母校と卒業生をつなぐ絆をつくることにあると考えます。具体的にいって、①毎年同窓会報を発行し全ての会員におくる。②数年ごとに新しい会員名簿を発刊する。③全ての会員に案内して総会を開催する。又、その他親睦行事を実施する。等のことですが、これらの事は改めて云うに及ばないところがあります。しかし、何故、今迄このことがなされなかったのか? というより出来なかった訳ですが、その最大の理由は全ての会員に送る通信費が多額となり現在学校側から出ている同窓会費では、その予算がとれないからであります。(因みに卒業生総数は今年で約27,000名)これらの事を実施するためには、会員の皆様のご理解を戴いて協力金による別途財源を確保しなければなりません。

丁度一昨年が母校創立70周年という節目に当りましたので、これを機に同窓会の記念行事にとり上げ、記念総会や新会員名簿、又、会報を発行し、この記念事業の案内を初めて全卒業生に送ると共に、併せて募金協力をお願いいたしましたところ、多くの同窓卒業生から1千万円近い協力金を頂戴いたしまして70周年記念事業の全てを大成功裡に行なうことができたのは記憶にも新しいところであります。ここに改めて厚く御礼申し上げる次第です。

これは70周年記念事業という事で、特別にご協力を賜わったものであるとは思っておりますが、今後も全ての卒業生を対象に於いて同窓会活動を続けてまいる以上、同窓皆様のご協力による別途財源が確保されなければ長く続けていくことが不可能となります。ここに同封いたしました協力募金振込依頼が、その通信費の財源となるものであります。当会報に案内しました様に本年9月27日には同窓会総会の開催が決定しております。又、ゴルフ会やバス旅行等の親睦行事も予定されています。このような同窓会活動に是非参加していただき、青春時代の心に返り同窓生相互の交流を一層深め、併せて母校に対する帰属意識を高めて戴くことが私の念願といたすところであります。

今後も根気強く時間をかけて同窓会活性化に尽力してまいり所存ですので、何卒ご賢察ご理解の上、ご支援賜りますことを衷心よりお願い申し上げる次第です。

盛夏の折、いっそそのご健勝をお祈り申し上げます。

同窓の皆様には、お変わりなくご健勝でご活躍のことと存じます。平素は母校発展のために何かとご高配にあずかり、心から感謝とお礼を申し上げます。

月日の経つのはまことに早いもので、20世紀もあと2年余りを残すのみとなりました。1925年(大正14年)に生まれた北陽も73年の年輪を刻んで、今では上新庄の地にすっかり根づいております。しかしながら、現在私学を取り巻く情勢はますます厳しさを増し、前途は必ずしも楽観を許しません。ご承知の通り、全国的な少子化の流れの中で、平成に入って生徒が急減し続け、中でも大阪の減少率は群を抜いています。その上、バブル崩壊後の不況が私学志願者の減少に追い打ちをかけたのです。数年前まで私学の教育力が評価されて、毎年私学志向が高まっていたのですが、最近は逆に授業料の安い公立へ流れが変わってしまいました。この傾向は今年度の高校入試結果を見ても明らかです。大阪私立高校93校中、募集定員を割った学校が実に51校もありました。幸い本校では、462名の募集に対して2,850名が受験、500名が入学ましたが、来年以降の保障はありません。従って、魅力ある学園づくりを強力に推進して行かねばなりません。そのためには、何よりも先ず糸島先生の「社会の中堅として役立つ人間の育成」という建学の精神を再確認し、知・徳・体の調和した人間づくりを再構築する必要があります。そこで、進路別・習熟度別コースの導入による成果を踏まえ、新プロジェクトチームを結成、リストラの成案を目指して論議を重ねています。

現在の学校規模は生徒数1,501名、専任教員64名、非常勤講師29名、事務職員7名、パート職員3名、理科助手1名、校務員1名という構成です。

今春卒業した生徒の進路は、大学295名(44.0%)、専門・専修学校79名(17.1%)、就職107名(23.2%)、未定(浪人等)77名(16.7%)で、大学進学がはじめて4割を超えたのは特筆に値すると思います。

伝統の軽教育も健在です。服装も今年で全学年が紺のダブル上衣にグレイのズボンで統一されました。茶髪はおりませんし、遅刻も他校に比して少ないと好評を得ています。

クラブ活動は相変わらず活発で、部員百余名を擁するサッカー部、硬式野球部をはじめ各部とも相応の成果を挙げています。昨年9月第1回大阪選手権大会(天皇杯予選)で高校代表として出場、大活躍したサッカー部は、今年も総体に向けて順調に勝ち進んでいます(5月12日現在ベスト4)。テニス部は惜しくも3位で総体出場を逃しましたが、あと一步まで來ました。陸上部も駅伝で昨年は大阪3位、今年は躍進が期待されています。その他のクラブも毎日元気で精進を重ねておりますから今後とも一層のご声援をお願いします。

最後に、皆様の益々のご健勝をお祈りします。

第20回代議員会開催

三木同窓会長再任

第20回同窓会代議員会が、4月19日午後2時から母校会議室で代議員75名が出席して開催された。ことしは戦中戦前に卒業された諸先輩のご出席が目立ち印象的であった。特に第1回から第3回卒業の「松村」「岩永」「北」「杉本」さんら大先輩のご出席を頂き、母校同窓会の発展に寄せられる熱き想いに接し、大いなる感銘を受けた。

代議員会は、栗田副会長の開会挨拶のあと、物故者に黙祷、全員で校歌を斉唱した。続いて三木同窓会会長が挨拶、「過日の会長選考委員会で再度会長に推挙されたので、お引き受けした。今後も引き続き全卒業生を対象として同窓会活動を展開する。そのためには、昨年度よりスタートした4事業部の活動成果と反省を踏まえて、更に強力に推進する。特に今年は9月27日に、全卒業生を対象とした同窓会総会を開催するが、これらの行事には莫大な通信費が必要となる。今後の運営資金増加と安定化を訴えた。

引き続いて、林校長先生がご挨拶され、学校関係の近況、特に進学、就職状況等報告され、今後一層の同窓会との協調体制を力説された。そして議案審議に入る前に、長年同窓会活動に尽力され、この度、理事を辞任された「窪田」「鈴木」「多水」「北川」の4理事に、三木会長より記念品と感謝状が贈呈された。

このあと議長に杉本副会長が選出され、議事に入り、平成8年度の事業報告と収支決算書の報告、引き続いて、平成9年度の4委員会(事業、協力金推進、広報、組織)の計画、及び予算について審議、また、三木会長の再任と新役員が紹介され、いずれも満場一致で承認可決された。

なお、今年は役員改選年であるため、役員の任期3年を2年にするなど、会則の一部修正と改訂を上程、併せて承認を得た。多くの議案上程ではあったが予定時間通り審議承認され、福島副会長の挨拶で閉会した。

このあと職員食堂で懇親パーティが催され、松村大先輩の力強い乾杯の音頭で開宴、限られた時間ではあったが、お互いの近況を語り合い、又持ち寄りの景品をビンゴゲームで一喜一憂で取り合ひなど、楽しい一時を終えて散会した。

(栗田記)

第2回同窓会総会

9月新阪急ホテルで

同窓会長 三木 憲三

同窓生の皆様方には益々ご健勝で、ご活躍のことと存じます。さて、予ねて進めておりました、全卒業生を対象としての同窓会総会を、母校創立70周年記念総会に引き続き、第2回目の総会を下記の通り開催致します。私は前々から卒業生全員参加の同窓会総会こそ、同窓会活動の原点と考えております。何卒、公私共何かとご多忙のことと存じますが、一人でも多くの同窓生をお誘い合わせの上ご出席下さいます様お願い申し上げます。

尚、準備の都合上、出欠用返信はがきを9月6日(土)までに投函下さいます様お願い致します。

記

日 時 平成9年9月27日(土)
17時30分より(受付は17時より)

場 所 新阪急ホテル 紫の間
(06-372-5101)

1 総会ー会務並びに会計報告、その他

2 講演ー上田昭三先生

上田先生は昭和20年卒業の同窓生
関大名誉教授 現・流通大学教授
金融論の大家、マスメディアでも有名

3 懇親会ー立食パーティ

会費 10,000円 ※当日徴収させていただきます。

〈お願い〉

同窓生の皆様方もご承知と存じますが、全同窓生を対象とした諸行事のご案内に就き、その都度ご案内状を郵送すれば莫大な郵送料が必要になります。現在その力は同窓会にはありません。従って、全同窓生に参加を呼びかける行事については、年2回発刊する『北陽同窓』の会報紙上に案内を掲載しておりますので会報掲載の行事案内を正規の案内状と受け止めて頂き、必ず出欠如何を返信はがきに記入の上、投函して頂く様お願い申し上げます。

事業運営委員長



▲ 代議員会懇親会



▲ 同窓会代議員会

■ 平成8年度 同窓会決算報告

収入の部

科 目	予 算	決 算	摘 要
前 期 繙 越	16,584,597	16,584,597	
会 費	2,300,000	2,300,000	460名×@5,000
代議員会会費	700,000	240,000	48名×@5,000
会員協力金	3,000,000	2,828,884	512名
会報広告収入	1,000,000	315,000	
受 取 利 息	67,000	73,725	
合 計	23,651,597	22,342,206	

繰越金明細

平成9年3月31日現在

現 金	38,559
普通預金(三和)	1,525,838
普通預金(さくら)	556,333
普通預金(池田)	1,085,309
郵便振替口座	139,810
金銭信託(住友)	243,972
定期預金(三和)	4,546,155
定期預金(池田)	1,016,190
貸付信託(住友)	6,000,000
合 計	15,152,166

自 平成8年4月1日
至 平成9年3月31日

支出の部

科 目	予 算	決 算	摘 要
会 議 費	816,000	599,070	代議員総会費400,930
協 力 金	250,000	250,000	
人 件 費	928,000	873,600	
交 通 費	70,000	36,260	
消 耗 費	53,000	18,436	
通 信 費	165,000	155,690	
印 刷 費	50,000	59,586	
慶弔費	130,000	151,596	
雑 費	0	24,729	
予 備 費	350,000	0	
新 事 業 費			
会 報 委 員 費	4,500,000	4,692,720	
協 力 推 進 委 員 費	1,000,000	328,353	
組 織 強 化 費	300,000	0	
小 計	8,612,000	7,190,040	
次 期 繙 越	15,039,597	15,152,166	
合 計	23,651,597	22,342,206	

■ 平成9年度 同窓会予算

収入の部

科 目	金 額	摘 要
前 期 繙 越	15,152,166	
会 費	2,800,000	560名×@5,000
代議員会会費	300,000	60名×@5,000
総会会費	800,000	80名×@10,000
会員協力金	3,000,000	
会報広告収入	730,000	
受 取 利 息	52,000	
合 計	22,834,166	

支出の部

科 目	金 額	摘 要
会 議 費	100,000	
代議員会議費	240,000	
総会会議費	800,000	
協 力 金	250,000	
人 件 費	480,000	
交 通 費	40,000	
消 耗 費	20,000	
通 信 費	3,300,000	
印 刷 費	100,000	
慶弔費	150,000	
雑 費	50,000	
予 備 費	300,000	
事 業 費	2,700,000	会報発行費、協力推進費、事業運営費
小 計	8,530,000	
次 期 繙 越	14,304,166	
合 計	22,834,166	

平成9年母校進路状況

進路指導係 鈴木 清士

入試結果、及び特徴的な点をまとめると次のようにになります。

- ①大学進学率は44%で、昨年の39%を大きく上まわった。
4大合格者数は295名。
 - ②中堅、あるいは中堅以下の大学は入りやすくなった。
 - ③推薦入試制度の様変わりから、本校でも一般入試へのシフト替えが行われた。

- ④センター試験の志願者は96名で過去最高。
センター利用型の私大に5名合格(流通科学大、追手門学院大など)
 - ⑤地元志向が強く地方受験は激減した。
 - ⑥昨年は国公立の合格者を4名出したが、今年はわずかに1名。(ただし来年度は大いに期待がもてそう)

■ 平成 8 年度 大学入試合格者数一覧

平成9年2月21日現在

大 学 名		推測	一般	浪人	合計	昨年
國立	大 学					
神 戸	商 船				0	1
奈 良	教 育				0	1
滋 賀	農 土				1	
阪 路	工 業				0	1
下 関	市 立	1			1	0
私立	大 学					
愛 知	學 泉	1			1	0
愛 知	工 業	1			0	
芦 壽	農 事	2			2	1
英 道	知 門	1	4	4	9	10
大 阪	手 音	1	3	7	11	4
大 阪	文 書	13	1	4	18	13
大 阪	經 济	2	1		3	1
大 阪	經 济				4	4
大 阪	經 济	4		2	6	6
大 阪	經 济	2	1	2	5	4
大 阪	工 業	1			1	2
大 阪	工 業	1	2		3	6
大 阪	國 際	3	6		9	
大 阪	國 際	4	2	4	10	3
大 阪	產 業	2	1		3	3
大 阪	商 業	2	1	4	7	6
大 阪	體 育	1			1	4
大 阪	電 氣	3	2	1	6	7
大 阪	電 氣	1	1	1	2	1
岡 山	商 術	1			1	2
岡 山	理 科	1		1	2	2
金 沢	工 業	1			1	0
川崎	醫 療	1			1	0
關 西	醫 療	2			2	4
關 西	西 日	3			3	0
關 西	外 国	2			2	3
關 西	外 国				0	3
吉 備	通 語				0	1
九 州	國 產				0	1
九 州	共 立				1	0
京 都	外 国	1			1	0
京 都	外 国	4	1		5	19
京 都	學 國	19	2	1	22	14
京 都	精 文	1			1	0
京 都	立 葉				0	2
近 五	國	10	2		12	6
熊 本	工 業	2	1		3	5
倉 敦	工 業	2			2	1
甲 子	工 業	2	3		5	8
甲 院	國 南	6	5	1	12	8
神 戶	學 院	2		1	3	4
神 戶	國 際				0	5
高 野	山	1			1	4

大 学 名		推 薦 一 般 浪 人			合 計	昨 年
駒	澤				0	1
四 天 王 寺	国 際	4	2	2	8	4
椎 智	院	2			2	3
鈴 鹿 医 療 科 学 技 術					0	1
成 安 道 形			1	1	1	0
聖 和 形			1	1	0	
揖 南	8	1	2	11	5	
相 爰				0	1	
至 塚 道 形 芸 術		1	1		2	2
第一 住 道		1	1	2	2	
第一 工 業	大	5	1		6	4
中					0	1
帝 京 平 成					0	1
帝 京	山		3	3	3	
天	理					1
東	華	9		1	10	15
東	海			1	1	0
東	京	学	國	1		0
東	京	道 形			1	0
東	北	福	社	2	2	0
東	北		和	2	2	5
獨	學	福	勝		0	1
德	文	山			1	0
德	文			3	3	1
長崎	總 合 科 学				0	1
奈	良 良				0	2
奈	良 良	產	業	2	5	21
日	本 文	理	國	3	3	8
花				1	1	0
阪		南		1	6	5
阪	路 独	協	援	4	4	6
廣	島		教		0	1
弘			授		0	3
福	井 工	業	國		0	2
福					0	1
福	山 平	成	政		0	1
法					0	1
北	海 学 國	北	見	2	2	3
北	海 道 情 報	報	1		1	1
松		阪		2	2	0
宮	崎 產 業	經	營		0	1
明			治		0	1
桃	山 学	院	正	1	2	3
四	日	市	正	1	1	0
立			鈴		0	1
立	命		日		1	6
立	命 館		全		0	5
龍			全	2	5	4
流	通 科 学		1	1	2	3
四 年 制 大 学		150	64	81	295	
昨 年 実 績		190	64	60	314	

大学名	推薦	一般	浪人	合計	昨年
短期大学					
池之坊	1			1	1
大阪工業	5			5	4
大阪産業				0	4
大阪能開発				0	2
大阪電通	14	1		15	14
大阪電通日	3			3	1
大阪阪谷	5	1	2	8	1
関西外国语	1			1	1
関西外国语II	3		1	4	2
関西芸術	1	1		2	2
京都経済	3			3	3
京都都築	2			2	0
京近畿				0	18
豊國美術	5			5	23
姫路美術	4			4	5
姫路美術	1			1	2
姫路美術	9			9	12
滋賀文教				0	1
成安造形	1			1	0
西山	1			1	2
聖泉山				0	2
高山西				0	3
東邦学園	1			1	0
中日本自動車	1			1	1
浪速連業	3	1		4	25
福井工業				0	11
別府谷				0	1
北海学園北見				0	2
短期大学	64	4	3	71	
昨年合計	110	17	9	136	

主な就職先

葉業ル紙業道本ン刷版体車ク業産業産業所輸所
保工品イ製工鐵製シ新車動物工動工車ム通バ鋼
浦シタ客席マ印ラ自鋼采品不動シ製製
賢シタハ旅印シロタニ共食自冷熱
ト陽昭イ海洋オタヨア急急電機崎川
合シナ太ダ東東凸トトド日阪阪阪三三名山淀
綜ソ太一産冷ガサル央本でウ産石バ製工テ加
事ス一葉藏一スツ所藏道んンス葉油シ紙業ル工ソ
バ
高一産冷ガサル央本でウ産石バ製工テ加
ラスベル製子鋼ホ板
山リ丹田ワン阪コン市中日人ラ鋼急鋼レ
か
山阪阪阪阪坂
青ア伊海エ大大大大近クサシシ敷新神新坐セ

母校・クラブニュース

2年目を迎えたサテライン授業と アメリカホームステイ

予備校の授業を取り入れた授業は、英語・数学の2教科だけですが、夏・冬・春の3期間行うことができました。出席者の大多数が授業内容を高く評価していますので、今年も多数の受講申込者があることだと思います。

一方、アメリカホームステイ語学研修は、7月30日～8月18日の20日間を今年も実施します。内容はアリゾナ州の大自然とロサンゼルスを見学して、治安の良いユタ州ソルトレイクシティで、1家族に1名の語学研修とホームステイを経験します。(午前中は学校での授業があります)

アメリカ人の暖かい家庭で何かが生まれることでしょう。

教頭 金澤 勇

「平成8年度第1回秋季近畿地区高等学校 軟式野球大会優勝」

山内直行先生が監督になり10年以上、ようやく“優勝監督”となることが出来た。過去幾度となく決勝戦で涙を飲んでいただけに、この優勝はさぞかし待ち望んでいたものだったにちがいない。

この秋季大会は昨年10月26日～28日までの3日間、富田林市立総合スポーツ公園野球場で開催された。本年の第52回国民体育大会のリハーサル大会も兼ねており、富田林市も主催に加わった為、素晴らしい大会となった。球場設備はもちろんのこと、開・閉会式のセレモニー、その他細かな面にまで手が行き届いており、生徒達も素晴らしい体験が出来たと思う。

実はこの国体のリハーサル大会という理由から、この大会に限り大阪府には3校の出場枠が与えられており、本校は第3代表であった。今から思うと、この第3代表というのが生徒達に変な緊張感を持たせなかつたようである。

試合の方は1回戦が優勝候補の1校であった京都代表平安高校で、結果は2-0で勝利を収めた。投手戦となつたが、初回、5回とチャンスを確実にものにし得点に結びつけた。9回、ランナー1人を置いて、あわや同点輝かという大飛球もボールのわずか外側であった。投手、岩浅の見事な3安打完封であった。

参加校8校のため、次の試合が準決勝となった。相手は第2代表PL学園。互いに知りつくしており、なかなかチャンスがなかったが、5、8回にスクイズ・エンドランとで1点ずつが入り、2-0で勝った。これも岩浅の3安打完封劇であった。そして決勝は兵庫代表育英高校。攻守共群を抜く力を備えており、勝負にならないのではと思ったが、完璧な守りで相手を0点に押さえた。岩浅は2安打完封。但し相手投手もこちらを3安打に押さえたので、9回終了時で0-0であった。

実は、準決勝、決勝と同日で行ったことが、1日18回以上消化しないという野球規則に触れるので、延長戦はできなかった。結果は抽選で決め、本校の優勝となつた。

この大会で、生徒達は野球が数段上手になった。一球一球終えるたび、攻・守共に上達したように思えた。この舞台が彼らの最大の能力を引き出させたのである。また、山内先生の努力も一気に報われた。岐阜の中京商業や愛知の豊川高校を始めとする他府県との交流、高橋南、大商学園などの監督達と大阪の軟式レベルを上げようという長年の取り組みの成果である。あとは、夏の大坂予選を征し、全国大会に出場する目標が残っているが、それが実現される日ももう遠くはないと思っている。

監督 山内 直行
部長 岩永 宏光



▲優勝した軟式野球チーム

サッカー、春先から好スタート

今年度のチームの特徴で、まず特筆されるのが攻守ともに安定した組織力であろう。これまでの高校1、2年の年代で、全国、近畿、大阪府下における各種公式戦を、20試合以上戦ってきた選手が、チームの半数以上を占め、質の高いトレーニングと、トレーニングだけでは養えないものを学んだ公式戦での経験が、昨年度のようなスター不在の今年度のチームに、安定感をもたらした要因です。その他、身長180cmをこえる大型選手もそろい、屈強なセンターラインを軸に、小兵ながらシャープでスキルフルな選手とのバランスのとれた、徹底したサイドアタック、セットプレーからの迫力ある得点も今年度のチームの大きな特徴となっております。

また、恒例となっている春の強化遠征では、全国の強豪が集まる清水フェスティバルで初優勝を遂げ、春先から好スタートを切りました。将来性豊かな新人選手もチームに馴染み始め、その成長ぶりと共に、今後のチームとしての成長が楽しみになっております。

97年度インターハイ大阪府代表

監督 野々村 征武

陸上競技部

陸上競技部は現在部員数55名で活動しています。個人競技ですので、走・跳・投の各ブロックにわかれ、近畿・全国へ向けて各人が目標達成の為にがんばっています。陸上競技の個人での全国大会への出場資格は、各個人種目とも大阪大会6位入賞で近畿大会へ進み、更に近畿大会で6位入賞した者が全国大会へ駒を進めるといったシステムです。かなり厳しい条件の中から勝ち残っていかなければならぬ現状ですが、昭和49年以降現在まで毎年個人・駅伝では近畿大会へは出場しております。その中で全国大会は4回経験しております。

今年は走り高跳び・110Mハーダル・投てき・長距離等の各ブロックに力のある選手があり、全国1-Hへの手ごたえを確信しております。又、冬の近畿高校駅伝の連続出場も更新中であり、毎年力をつけていますので、都大路での全国高校駅伝出場にも近い将来期待して下さい。

部員達は、毎日明るく楽しく練習に取り組み、心のスタミナをつけつつ、小さな自分で競技生活を終わらない様、常に頂上を目指し頑張っていますので、ご声援よろしくお願いいたします。

最後になりましたが、OB各位の平素のご支援、感謝いたしております。紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。

監督 米川 修二

楽しい同窓の集い

北陽商一會第18回同窓会

(昭和4年第1回卒業)

昨年、今は亡き藤田会長の健康上の都合などで1年半振りに昨年11月20日、第18回同窓会を開催致しました。

今回は格別嬉しいことに、昨年、平成7年度の会員名簿により67年ぶりに健在の日野福松君(旧姓田中君)が判明、今回初めて元気なお顔で参加して頂き対面出来ましたことは、本当に嬉しい感動的な出会いでした。どうして今日迄連絡が取れなかったのか不思議でなりません。

ところで、今回の参加者は日野君の他に5名で阪急グランドビルの「司」にて集合、久し振りの再会にてお互い元気での出会いを喜び合い、昼食を楽しみ乍ら、近況報告や世間話に花が咲き賑やかな良い雰囲気でした。次回は平成9年春頃と云う事でお互い励ましの言葉を交わし散会致しました。今回の参加者は写真右より、中井・岩永・松村・日野・高山並に高山夫人の、6名の方々でした。

松村 豊記



「二三会」昭和23年卒同窓会

フタミ

本年の「二三会」は、平成9年6月4日、同窓生の経営する心斎橋の四季い・ち・り・んで開催しました。

参加者は、昨年の19名に比べ、今年は身体の不調者が続出し、僅か11名でしたが、皆元気いっぱいの精銳強者共で、中には病気を押して参加してくれた者もいました。

話題は、戦中戦後の北陽時代の思い出話。特に学徒動員や空襲などの苦い経験談に先ず花が咲きました。その他、今回の「二三会」の準備に際しての苦労話や、今後より多くの同窓を集め手段も話題になり、各人が分担して、「誘致作戦」を展開することになりました。なお、お互い古い先の短い年齢になってきたので、事情の許す限り、「二三会」を年2回(1回は簡単な昼食会程度)開催して、親密の輪を保っていくことに話が決まり、時間の経つもの忘れるほど話がはずみました。(PM6:00~PM10:00) 佐々木 清記



▲二三会同窓会

昭和35年卒業(普通科)

平成9年1月25日(土)本町美々卵で久し振りの同級会を開きました。当日は木村先生(前校長)を囲んで、お互いの再会を喜び合い積もる話に花が咲き、時を忘れる程でした。予定の時間も残り少くなり、次回の再会を約し閉会致しました。 依藤 定利記



▲前列左より 木村先生 摂津和生
二列目 依藤定利 多田寅則 村田 浩
三列目 久保義美 永楽清夫 木戸淳司 吉谷 嶽 木村洋一

松下学級合同同窓会

平成9年6月14日、松下昇司先生を恩師に持つ、昭和41・47・50・53・59・62年度7クラスの合同同窓会が、大阪市北区ウェスティン大阪ホテルにおいて開催されました。発会に至る経緯は母校創立70周年記念式典祝賀会の際、松下学級として1テーブルを設定していただいたことに始まり、初めて会う先輩後輩同士が同じ恩師を通じて交流・親睦を図り、昔話に花を咲かせ楽しい一時を共に過ごしたことがありました。

そこで、この合同同窓会は、年齢こそ違え同じ恩師を持ち、同じ学舎で青春期を過ごした同窓として親睦・異業種交流を図り、タテ・ヨコの繋がり真の友情を育み輪を広げて行くことを目的に発足致しました。

当日は、三木恵三同窓会長をはじめ6名の来賓の方々にご臨席いただき、50余名の出席のもと、合同同窓会設立総会並びに第1回合同同窓会が盛会に開催されました。

参加者全員感動を胸に秘め、次回の開催を楽しみに夜の街へ和気あいあいとして消えて行きました。

松下会事務局長 川城 勝良(昭和53年度)



▲松下学級同窓会懇親パーティ

同窓の隨筆

在学時代の思い出

井上 茂(昭和26年卒)

北陽に入学したのは、昭和20年太平洋戦争が終結する年の春であった。入学前の3月には大阪空襲があり、入学試験はその年に限って実施されないまま、志望校の北陽工業学校に入学できた。戦時体制下であったが、生まれてはじめての電車通学でもあり、地元から開放された新鮮な空気が吸え大変楽しかった。

しかし、戦争は次第に敗色が濃くなり、沖縄では日本軍が玉砕し、あとは本土防衛、焦土となつても日本を死守するとの考えであったが、大阪へは頻繁に敵機来襲があり、登校しても警戒警報が発令される度に授業を中断して自宅へ帰宅させられた。ある日など、例によって帰宅途中、私は京都沿線であったので、阪急の淡路から乗車して正雀までさしかかると、そこからは運転中止となりホームから降ろされて防空壕に退避させられた。警報が解除されても電車が運転されず、正雀から水無瀬の自宅まで阪急の軌道をつたって大嵐の中、徒歩で帰宅したことがあった。当時は生徒の誰も、日本が負けるなど露ほどの思いも持たなかつた。何故なら配属将校が鬼畜米英殲滅、アジア共闘団を建設するには君達若い力にあると教え込んでいたからだ。教育とは怖いものである。

戦後は軍国主義は崩壊して、文化国家を建設し日本は東洋のスイ士たれどの風潮のもとに、当校でも音楽部、演劇部といった文化部の活動が巾をきかした。私は大阪高等学校ユネスコ研究会(ユネスコ=国連教育科学文化機関)に入った。事務局が心斎橋の大丸百貨店内にあり、時々水曜クラブと云う会合にて、他高校生とも交流した。又、新聞部にも入部し、年3~4回位、普通紙の半分位の大きさのタブロイド版を発行するのを手伝つた。今で云う学園祭が當時も秋に行われ、提携している高校の新聞や毎日新聞からニュース写真の貸与をうけて、開催前日準備の為に学校に泊まり込んで、室内的飾り付け等に励んだ。現在の華美な学園祭と違って、当時は食べるものも十分に行き届かない飢えの貧しい時代であったが、精一杯青春を燃焼できたことは、私の長い人生のこよなき思い出の一駒である。



バレーボールに夢中

内海 昭(昭和43年卒)

かれこれ33年も昔の話になろうか、中学時代バレーボールに夢中になっていた私は、伊丹市内で優勝し、阪神大会へ出場したことが縁で、北陽バレー部からお誘いを受けた。普通科を(当時K・L・M組の3クラス)希望し、3年間とも担任だったのは、現校長の林敏夫先生である。生徒数が多く、淡路にあった校舎の中庭の片隅のプレハブで3年次を送った。もちろん今様の施設はなく、冬など震えながら授業を受けたものだった。

担任で国語担当の林先生は、特に厳しかった。眼光鋭く、あのギョロ目? でにらまると、萎縮してしまう程の形相だった。しかし、掃除は自らが先頭をきいて指導され、親しみを感じた。

男子校だけに毎朝の校門指導も厳しいものがあった。《知・徳・体》の校風は徹底されていたのかもしれない。

放課後、淡路の校舎から体育館のある上新庄まで荷物をかかえてのかけ足だった。そして毎日夜9時過ぎまで練習、試合の連続だった。しかし休みたいという気は起きなかった。

おかげで府で3位、私学・商業大会2位という実績を残し、北陽バレー部の黄金期をつくった。故安富先生も喜んでくれた。

当時、相撲部、剣道部などは全国大会レベルで、加えて甲子園初出場の野球部、全国大会間近のサッカー部と盛り上がりのあった運動部だっただけに、一丸となった時代だった。

卒業してから上京して、「目の前の運命を懸命に生きる」を信じ、文学に身を投じた。縁あって、現在千葉の市川高校に奉職している。何でもやらねばならない私学で、テニス部の顧問を15年間続けていた。北陽での恩返しはできないが、教育はどこでも同じ、日々、中学・高校テニス部員の指導に忙しい。O B会事務局長として卒業生の面倒も見ている。教え子の結婚、そして仲人となる。もうそういう年代になったか。何とも月日の経つのは早いものである。



同窓生の経営するお店

心斎橋『四季 い・ち・り・ん』

昭和59年度卒業の中山善允(硬式野球部)です。

北陽→近畿大→日本IBM→韓国プロ野球・三星LIONSで3年間プレーした後、平成8年5月大阪市内心斎橋にて、日本料理店四季いちりんを開店。本格懐石料理・鍋・旬の一品が美味しく食べられるお店です。

北陽出身と言えば同窓生に限り生ビール一杯サービス致します。座敷(2~24名)、個室(2~24名)の他、最大45名様収容のホールまで大小宴会が可能です。カウンター席もありお一人様でもお気軽にお越し頂けます。お昼は2,000円御膳から。夜は、6,000円からの本格懐石、3,500円からの鍋、500円からの一品料理と、お手軽なお値段でご奉仕、ご商談、接待等幅広くご利用頂けます。

毎月曜日定休 電話 06-243-5115

営業時間は昼の部11:30~3:00(ラストオーダー2:00)

(土日祝 2:30)

夜の部5:00~10:00(ラストオーダー8:30)

(土日祝 8:00)

ジャズスポット『ブルーシティ』

店長 山下 家繁(昭和30年卒)

阪急京都線、上新庄駅前 明徳ビルB1で本格派志向のジャズスポットの店として20年前にオープン。

オールドジャズからスタンダード、ニュージャズまで、3,000枚のレコードが揃っております。

またマッキントッシュのマルチアンプシステムでJBLのプロ用ホーンシステムが使われており、強烈にスイングするサウンドをジャズファンであれば一度試しに聴いて見ませんか。

毎月5~6回、関西のミュージシャンを中心にライブが催されています。是非ご来店下さい。

電話 06-327-0992

営業時間 13時~24時

メニュー コーヒー ¥500

手作りピザ ¥700

バー・ポン ¥700(1ショット)

同窓会役員名簿

○印は新しい役員です。

	卒業年	氏名		卒業年	氏名
名譽会長		林 敏夫		理事	S40 牛神良一
会長	S23	三木憲三		理事	S41 西本太一
副会長	S23	栗田文吉		理事	S42 足立宗央
副会長	S25	杉本庄七		理事	S42 寺田賢作
副会長	S26	福島嘉雄		理事	S42 松本純一
会計	S33	神山興三		理事	S44 小林俊治
理事	S4	松村豊	○	理事	S52 八木知之
○ 理事	S24	枝松兼雄		監事	S21 井上三二
○ 理事	S26	大森良通	○	監事	S21 元原弘雄
理事	S26	岡田勉		事務局長	S35 依藤定利
理事	S27	阪原弘		次長	S48 山添修
理事	S30	宮永康之			
理事	S34	仲川義一			
理事	S35	小林光富			
理事	S35	塙田修三			
理事	S35	西岡達郎			
○ 理事	S37	村田正明			
○ 理事	S39	松田哲治			

退任(ご苦労様でした。)

理事	S41	窟田喜久男
理事	S42	鈴木満
理事	S44	多水善和
理事	S45	北川徹
理事	S45	名古全弘

新役員紹介



元原弘雄



枝松兼雄



大森良通



村田正明



松田哲治

ごあいさつ

元原 明弘 (昭和21年卒)

私はこの度、団らざも同窓会の役員の一員として選任されまして、その責任の重大なことを自覚しております。

卒業以来50年余りになりますが、母校に通学していた頃の思い出、出来事が昨日のことのように思っております。

不敏な私が到底及ぶところではございませんが、同窓会相互の親睦・親和を図り、母校の隆盛に寄与すべく、微力ではございますが、同窓会活動にお役に立てるように努力したいと思っております。

枝松 兼雄 (昭和24年卒)

このたび、団らざも同窓会理事として選任を受け、その責務の大きさを痛感しております。間近に迫った21世紀を視野に入れ、既成観念にとらわれない一段の飛躍と変革を計るべく、情報交換の場としての同窓会活動の更なる活発化に邁進して参りたいと思います。

本年4月はまた、長い歴史と伝統を有する本校で「智・徳・体の調和」という全人教育を受けられた多数の新入会員を迎えたわけで、まことに心強くご同慶の至りです。次代を担う在校生、若い会員の皆様には、新時代に向けて、夢と素晴らしいビジョンをもって、大きく躍進して頂きたいと願う次第です。私どもは、一人ひとりの強い母校愛を結集し、三木憲三会長を中心に盛り上げ、その方針に沿い、同窓会発展のため努めようではありませんか。

今後とも一層のご理解と、絶えざるお力添えを賜わりますようお願い申し上げます。

ご協力のお礼

協力金推進委員会

平素は同窓会発展にご協力賜りましてありがとうございます。

前回発行しました会報に掲載させていただきました以降にご協力いただきました方々の氏名を掲載いたします。今後共よろしくお願ひ申し上げます。

銀行口座振込者

足立宗央 藤瀧 昇 前田省三

郵便払込者

道仲三二郎男則弘晃男達喜治雄次喜郎祐保夫男治雄勇進也仁雄雄司司信茂一勝造雄実一
 清善省慎伸和光真 隆信直寛博俊重恒喜 秀松正邦 信一達敏将耕義栄 幸貞 純
 尾尾田松月崎田本山山元田戸留田原楽口下下中中中本本本本本脇口上田田田村森
 村村村望百森森森森門安安谷柳柳柳山山山山山山山山山山山山湯由吉吉吉芳若
 之勝見昭政充徳雄史一三義輔彦樹博繁勇郎三彦和明正正一昭行毅弘信男郎雄一典夫郎一
 博良豊一宰実一喜省省和洋正秀勝 正博正智 清純 弘弘康宏英一武敬智孝敬可行登淳
 家野井谷岡田田田田田壁砂田井井浦尾岡田田野原村本山市口田原野宅崎崎下野森協好所月
 古星細細堀堀本本前前前真真増松松松松松松松丸見水三密三宮宮宮宮宮三向隣
 一夫二雄章治茂栄一孝雄久雄行人泰滋治勇光郎彦義男市夫治弘雄男次己雅勝治勝一次賢隆美男
 一茂憲幸紀 正慶 健輝義高勝 大清 之保貞昭三信雅光幸一孝久辰一 勝正重喜義英敷治
 上川島島島野野村崎山倉須平尾岡川川田仏村村森山網口沢本谷 烟本上田野住武井川川場
 仲中中中中中長長名那奈西西西西西西西西西野能野橋長烟浜浜林桶平福福藤藤藤札
 雄也男宏雄夫隆洋治人彦美一一博厚一雄一行一勝宏美雄護次郎美仁治也義男雄聰男一巣一明
 俊純貞忠与瑛利 五良勝正健順 友久眞恒章良敬 勝義慎圭元俊 幸卓猛徳利 正昭 仁伸
 田橋谷川若島近田 中中中中口日本宮村村松上 井村田屋井西本山本日本田山井井藤尾尾岡
 高高高竹竹田田竜巽田田田谷谷玉田田田大段辻辻辻辻辻辻辻辻辻辻辻辻辻辻辻辻辻辻辻辻
 治雄勇夫雄治勝富雄信宣剛茂弘男勝博數彦雄晴信徳平郎雄修一志行七巣一治昭一革郎彦雄昌明
 好輝恒栄 光徹和伸 泰忠 英忠力良政広章四忠 賢武信庄 二善植正博松一隆雅正
 殿豈一訓亦通昭一一実久彦彦雄彦夫清幸治潔吾博弘行直次拓雄幸仁好美微一三哉郎夫雄夫夫
 栖田田谷寺中林林林森藤郷海原下田木木野藤野山津田水田藤時甲保本木木吉谷部木木田
 栗黒黒小小小小小後西左轍坂坂佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐佐
 橋機坪西橋森山田本上山駒崎野煙原山川藤藤指村園浦垣井岡田中邊西本川用田下下馬保保田
 大大大大大大岡岡尾奥尾奥尾小小小蔵梶加加金金神上神龜龜河川川北北木木木木金久久倉
 相赤浅味天荒新荒荒飯井生池伊石石石泉伊糸糸糸乾井井今今岩岩上上上上内宇姥江大
 一也治七規作男夫吉司美史夫雄修一郎範孝昭樹幸正明茂夫司男一幸雄也夫三一司次稔之次芳和
 洋伸正十 大敏俊孝隆嘉博一秀 義茂 茂秀盛嘉宗 繁哲恒栄頼春貴龍昭吉耕種 博作通佳
 秋目正良調耕喜正 真顕忠国國義 豊新 正光 雅宗素一當章孝克 慶公俊彌利辰都秋
 坂井井舌野井木卷川内島田見田田平田藤岐垣嶺上上端西村木田本川砂田田山野野浦藏谷
 横横坪西橋森山田本上山駒崎野煙原山川藤藤指村園浦垣井岡田中邊西本川用田下下馬保保田
 大大大大大大岡岡尾奥尾奥尾小小小蔵梶加加金金神上神龜龜河川川北北木木木木金久久倉
 一也治七規作男夫吉司美史夫雄修一郎範孝昭樹幸正明茂夫司男一幸雄也夫三一司次稔之次芳和
 洋伸正十 大敏俊孝隆嘉博一秀 義茂 茂秀盛嘉宗 繁哲恒栄頼春貴龍昭吉耕種 博作通佳
 秋目正良調耕喜正 真顕忠国國義 豊新 正光 雅宗素一當章孝克 慶公俊彌利辰都秋
 坂井井舌野井木卷川内島田見田田平田藤岐垣嶺上上端西村木田本川砂田田山野野浦藏谷
 相赤浅味天荒新荒荒飯井生池伊石石石泉伊糸糸糸乾井井今今岩岩上上上上内宇姥江大
 一也治七規作男夫吉司美史夫雄修一郎範孝昭樹幸正明茂夫司男一幸雄也夫三一司次稔之次芳和
 洋伸正十 大敏俊孝隆嘉博一秀 義茂 茂秀盛嘉宗 繁哲恒栄頼春貴龍昭吉耕種 博作通佳
 秋目正良調耕喜正 真顕忠国國義 豊新 正光 雅宗素一當章孝克 慶公俊彌利辰都秋
 坂井井舌野井木卷川内島田見田田平田藤岐垣嶺上上端西村木田本川砂田田山野野浦藏谷
 相赤浅味天荒新荒荒飯井生池伊石石石泉伊糸糸糸乾井井今今岩岩上上上上内宇姥江大

協賛廣告者

栗内神小杉武寺	吉男三富七夫作	淡路東宝
文二興光庄昭賢	堆崎三道弘二	京阪交通社 教育旅行大阪営業所
福松三村元山	利治淳勝修演	田口スポーツ
	田川井口田田	藤川隆文堂
	戸天桃山塩池	安田商会
	(硬式野球部)吉司三充	南渡辺画材教育用品社
	島田木尾原口	
	福松三村元山	

同窓会の楽しい行事ご案内!!

平成8年度に同窓会員の交流を深めるため計画した行事が大変好評で本年も、下記のとおり開催することになりました。

同窓、友人、知人、ご家族の皆さんをお誘い合わせのうえ奮ってご参加いただき、楽しい催しに盛り上げて下さいますようお願い申し上げます。

記

☆ 第2回ゴルフコンペ

日時 平成9年8月26日(火)雨天決行

場所 ライオンズCC(兵庫県)

会費 7,000円

※プレー費16,000円各自払い

参加人数 80名

締切 7月31日(木)厳守

※但し定員になり次第締め切れます。

組合せは別途ご案内します。

☆ 第2回日帰りバスツアー

日時 平成9年11月22日(土)雨天決行

行先 京都・金閣寺・料亭しょう山

(哲学の道～銀閣寺方面散策)

会費 12,000円(貸切りバス・食事代)

参加人数 100名

締切 7月31日(木)

※但し定員になり次第締め切れます。

◆◆◆◆◆ お問い合わせ・申し込み先 ◆◆◆◆◆
(ハガキまたはTEL・FAXにて受付)

〒533 大阪市東淀川区上新庄1-3-26

北陽高等学校同窓会事務局 TEL 06-328-5964

FAX 06-327-2747

〒564 吹田市高浜町4-7

株寺田美研 代表 寺田 賢作

TEL 06-381-2401

FAX 06-319-3843

故藤田忠男氏を偲んで

昭和4年第1回卒業生の同窓会「北陽商一会」の2代目会長の藤田さんが、10年前に初代会長の西田秀吉さん急逝の後を継いで、今日迄私達の隸役として、毎年2回の同窓会を開催し大変ご尽力頂いて参りましたのに、昨年初秋に入院療養中伺い1日も早い退院をと願っておりましたところ、11月12日薬石効なく享年88才の天寿を全うされましたことは、誠に残念な思いでございます。大変几帳面な方で、同窓会にも数少ないメンバーですが積極的に取り組んでおられましたのに、18回同窓会にはとうとう、優しい笑顔を見ることは出来ませんでした。本当に惜しい方を亡くしました、改めて哀悼の意を表し、安らかなるご冥福を心より祈念申し上げ、お別れの言葉と致します。さようなら。合掌 松村 豊 記(昭和4年卒)

編集後記

ようやく梅雨も過ぎ、本格的な暑さを迎える夏がやって参りました。

会員の皆様には如何がお過ごですか。同窓会会報発刊に当たり多くの方々からご支援、ご協力を頂き有難うございます。

我々会報を担当する広報委員会では、会員の皆様方よりの積極的なご投稿や、率直なご意見を基に、会員相互のコミュニケーションと母校との絆が一層深まる一助となるよう内容の充実化に努めますので、今後ともよろしくお願いします。

岡田 勉 記

公認 大阪城ラジオ体操会
ラジオ体操 (S62・H3郵政大臣認定)
幹部指導者

会長 木村 光延

(同窓会参与(昭和21年卒))

会場: 大阪城本丸正門前広場
〒537 大阪市東成区深江北3-3-22
電話(06)971-2838・0829番

ヤンマージィゼル(株)嘱託
北陽高校同窓会副会長

栗田 文吉

(昭和23年卒)

〒567 茨木市上野町8-11
TEL(0726)41-5756

北陽高校の益々のご発展を
ご祈念申し上げます

法柏 信明

(同窓会参与(昭和22年卒))

〒651-22 神戸市西区桜が丘西町5丁目7-12

株式会社 村尾工務店

代表取締役 村尾 清道
(昭和23年度)

〒560 豊中市岡町北2-2-24
TEL(06)852-3854

武岡製パン株式会社

代表取締役 武岡 昭夫
(昭和23年卒)

〒560 豊中市螢池町1-12-5
TEL(06)857-5940

吹田市議会議員
北陽高校同窓会副会長

杉本 庄七

(昭和25年卒)

〒564 吹田市垂水町1-57-37
TEL(06)384-8016

旅のことならなんでも
北港観光バス北案内所
北港ツーリスト

北陽高校同窓会副会長

代表者 福島 嘉雄 (昭和26年卒)

〒533 大阪市東淀川区菅原6丁目11-3
TEL(06)329-1517

北陽高校ボクシング部OB会

幹事長 小林 光富
(昭和35年卒)

〒662 西宮市結善町5-21-101
TEL(0798)72-7628

有限会社 リュマ

家庭日用品雑貨・輸入品卸・ギフト用品販売

代表取締役 山口 真二
(昭和51年卒)

〒530 大阪市北区天満2丁目12-19
サン・モトビル天満橋601
TEL(06)356-3066 FAX(06)356-3070

憩いのひとときをどうぞ

ラウンジ 網

〒553 大阪市福島区吉野2-15-18
阪神レジャービル3番館3階
TEL(06)448-0031

和菓子製造販売

松竹堂

〒565 吹田市山田東2丁目37-14

TEL(06) 877-1125

大阪市・吹田市・摂津市・指定業者

・各学校美術科設備品及び教材

・デザイン材料・額縁・和・洋絵画材料

有限会社渡辺画材教育用品社

事務所 吹田市吹東町32-1 〒564 TEL(06)383-1404

FAX(06)383-1418

支店 大阪成蹊女子短大美術ショップ TEL(06)340-1479

各種贈答記念

アイデアと企画の店

安田商会

〒532 大阪市淀川区木川西1-6-25

TEL(06)303-2070 FAX(06)307-0260

スポーツ用品のことなら

スポーツ八田

八田英樹

〒532 大阪市淀川区三国本町3-10-9

三国小学校前

TEL. 大阪(06)392-0015

TEL. 大阪(06)392-1900

明日を見つめ ベストを追求する

一橋出版社

〒167 東京都杉並区南荻窪4-30-6

TEL:03-3392-6021(代) FAX:03-3332-7299

商品撮影・ポートレート・建築写真・各種発表会・記念行事の撮影

サカイ

株式会社左海フォトプロダクション

本社・スタジオ 〒545 大阪市阿倍野区阪南町5-10-5(地下鉄・御堂筋線西田辺駅北50m)

TEL 大阪(06)621-0085(代) FAX 621-0626

コンピューター画像による・古い傷んだ写真の修整・復元・写真の合成・電線等の不要物の消去

大阪の酒 水都乃匠 発売元

こよなく大阪の町とお酒を愛する七人の匠

代表 村尾 善伸

酒匠 MURAO

〒530 大阪市北区中崎西1-10-10 TEL・FAX(06)371-8272

株式会社 栄伸化学

代表取締役 元原明弘 (昭和21年卒)
同窓会監事

本社 〒547 大阪市平野区加美北9-2-5
TEL(06)794-0975 FAX(06)736-2488

卒業生ががんばっている会社です



日産石油販売株式会社

防災部(社会の財産を守る、消防・防災設備のプロ集団)

〒530 大阪市梅田2-2-25(新阪神ビル) TEL(06)448-6936(防災部直通)

塚口タイヤ株式会社

(ブリヂストンタイヤショップ)

専務取締役 松田裕晴 (昭和53年卒)

本社 〒661 尼崎市東塚口町2-4-54
TEL(06)428-2018(代) FAX(06)428-2023

● フィルムレンタル

ご一報次第係員がお伺いします。

邦画、洋画、独立プロ、等35m/m版・16m/m版在庫豊富!!

● クセノンピンスポットライト

スクリーン、暗幕装置

スライド映写機等のレンタル

淡路東宝

〒533 大阪市東淀川区淡路4丁目7-7
TEL(06)322-2602
FAX(06)325-6811

国内旅行

ラツキーツア-

海外旅行

シムコツア-

心の通った修学旅行

株式会社



京阪交通社

教育旅行 大阪営業所

〒541 大阪市中央区北浜2丁目6番26号 TEL(06)228-1691

制禦盤配電盤制作・計装電気工事

共栄電器工業 株式会社

代表取締役
同窓会参与 柳樂喜祐 (昭和17年卒)

本社 〒660 尼崎市杭瀬北新町1丁目16番1号
電話大阪(481)8807~0番(代表)・(489)3041番
東京営業所 〒177 東京都練馬区高野台2丁目6番16号
及工場 電話東京(3904)1521番

尼崎工業株式会社

代表取締役
同窓会理事 神山興三 (昭和33年卒)

本社 〒676 兵庫県高砂市梅井3-25-23
TEL(0794)48-6616(代) 48-6617
FAX(0794)47-2072

大森モータープール

同窓会理事 大森良通 (昭和26年卒)

〒533 大阪市東淀川区淡路4-13-16
TEL(06)322-0001・0008

塗装工事請負※看板製作一式

見積無料

大阪府知事許可(般-55)第56974号
近畿郵政局・吹田市指定業者

株式会社 寺田美研

代表
同窓会理事 寺田賢作 (昭和42年卒)

〒564 吹田市高浜町4-7 TEL(06)381-2401 FAX(06)319-3843

HANWA左新
会員

業工



**地球大の、
共感ビジネスへ。**

HK 阪和興業

取締役名誉会長 同窓会顧問 北二郎 (昭和6年卒)

(工事製作部門)

総合電気工事・設計、施工
自動制御盤・製作

(代理店・販売部門) EIKO DENKI

ヤンマー・ディーゼル 基幹特約店
愛知電機 アイチトランス特約店

— 心と技術で明日を築く —

栄興電機工業株式会社

代表取締役社長
北陽高校同窓会会長

三木憲三

(昭和23年卒)

本社／〒661 尼崎市瓦宮1丁目9-15 支店・工場／〒566 摂津市一津屋3丁目3-14 営業所／西宮
電話(06) 491-5301(代) 電話(06) 349-2831(代) 宝塚
FAX(06) 493-1051 FAX(06) 349-0765